

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 新規の天疱瘡抗体病的活性測定法による水疱形成機序の解析 (承認番号 T2024-1052)』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森病院

研究責任者 皮膚科 職位・氏名 講師・吉田憲司

【試料・情報の利用目的】

天疱瘡は自己免疫水疱性疾患ですが、現在の病勢の評価法は ELISA 法で血中の自己抗体の量を測定することが行われていますが病勢と相関しない症例もあり新しい病的活性を直接測定する評価法が望まれていました。

東邦大学医療センター大森病院皮膚科では、新しくビーズ凝集法を利用して病的活性測定法を開発・確立することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、天疱瘡の診断、病勢の評価、有効な治療の開発につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料: 血液検体

情報: 病歴、診療の治療歴、重症度、各種検査結果等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

東邦大学医学部倫理委員会による許可日

【試料・情報の取得方法】

この研究は、医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者: 2012年1月～2025年6月までに東邦大学医療センター大森病院皮膚科において、「難治性皮膚疾患の血清学的研究(承認番号:M22269 21214 19112)」に関する同意書にサインを頂いた方

方法: 「難治性皮膚疾患の血清学的研究」に参加いただいた際に採取した血液の残余分が東邦大学医学部皮膚科学講座(大森)で保管されています。この保管されている血液を用いて私たちが新たに開発したビーズ凝集法で抑制活性を測定します。診療録(カルテ)から抽出した重症度と、デスマグレイン ELISA で抗体価を比較することにより病的活性を測定できるか評価をします。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医学部皮膚科学講座 研究代表者: 吉田憲司 役職: 講師

【利用する者の範囲】

東邦大学医学部皮膚科学講座 研究代表者:吉田憲司

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医学部皮膚科学講座 研究代表者:吉田憲司

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2028年5月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用を致しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 皮膚科

職位・氏名 講師・吉田憲司

電話 03-3762-4151 内線 6685